

## 6. 表彰

- 1. 視覚科学フォーラム 2018 第 22 回 研究会・シンポジウム 優秀発表賞**  
受賞者：大松聡子，高村優作，藤井慎太郎，森岡 周，河島則天  
演題名：異なる構成要素からなる動画提示時の半側空間無視の視線特性  
内 容：動画提示時の視線分析により半側空間無視の症状特性を知るために，注視点をスクリーン画像の顕著性（サリエンシー）の分布と併せて解析することで，動的顕著性にどの程度影響を受けているかを分析した結果，無視症例は右空間の顕著性に視線が惹きつけられやすいことを報告した。
- 2. 第 15 回日本神経理学療法学会学術集会 学術集会長賞**  
受賞者：信迫悟志，石橋凜太郎，河野正志，富永孝紀，宗宮ゆりえ，  
奥埜博之，座間拓郎，大住倫弘，嶋田総太郎，森岡 周  
演題名：脳卒中後失行症における多感覚統合障害の検証～視覚フィードバック遅延検出課題を用いた検討  
内 容：脳卒中後失行症の感覚-運動統合障害について視覚フィードバック遅延検出課題を用いて明らかにしたことを報告した。
- 3. 第 5 回日本地域理学療法学会学術大会 大会長賞（調査研究部門）**  
受賞者：石垣智也，宮下敏紀，尾川達也，沖野裕大，篠宮 健，松本大輔  
演題名：訪問リハビリテーションにおける 2 ステップテストを用いた定量的な歩行能力評価－信頼性・妥当性の検討および屋外歩行自立に関する基準値の作成－  
内 容：訪問リハビリにおいても実施可能な歩行能力評価として、2 ステップテストの在宅環境における評価の信頼性・妥当性を検証し，屋内歩行や屋外歩行自立に対する基準値を作成した。

**4. 第52回日本理学療法学会 最優秀賞**

受賞者：森岡 周，大住倫弘，坂内 掌，石橋凜太郎，小倉 亮，河野正志  
演題名：脳卒中片麻痺上肢における運動イメージ能力と運動機能ならびに  
身体使用頻度との関係

内 容：脳卒中の運動イメージ能力が身体使用頻度に影響を与えており，それが運動麻痺の改善を左右することを報告した。

**5. 第52回日本理学療法学会 奨励賞**

受賞者：西 勇樹，大住倫弘，信迫悟志，森岡 周

演題名：慢性疼痛患者における交感神経変動と内受容感覚の関係性

内 容：慢性疼痛患者における内受容感覚が交感神経変動に影響を与えていることを報告した。

**6. 第19回認知神経リハビリテーション学会学術集会 最優秀賞**

受賞者：寺田 萌，高村優作，河野正志，森岡 周

演題名：慢性期失行症例におけるジェスチャー観察時の視覚探索特性  
～模倣障害の回復過程における一考察～

内 容：慢性期失行症例を対象に，ジェスチャー観察時の視線の移動を計測し，模倣障害の回復過程における代償戦略の可能性について報告した。